

## 2節 古代国家の歩みと東アジア世界



目標時間

30分

1 聖德太子の政治改革

2 大化の改新

3 律令国家の成立と平城京

4 奈良時代の人々のくらし

- (1) 6世紀ごろ大和政権の中で、(　　)氏や物部氏などの豪族が争った。
- (2) (1)の争いを和らげるために(　　)天皇が即位した。
- (3) (2)のおいの聖徳太子が(　　)となった。
- (4) 中国や朝鮮に学んで何中心の政治制度を整えようとしたか。
- (5) 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に取り立てた制度。
- (6) 仏教や儒学の考え方を取り入れた憲法。
- (7) 中国で6世紀末に南北朝を統一して強大な帝国を作り上げた帝国。
- (8) 607年に小野妹子などを(7)に使者を送ったこと。
- (9) 日本で最初の仏教文化。
- (10) (9)は(　　)の釈迦三尊像などの仏像が代表的。
- (11) 7世紀ごろ、隋にかわって新たに(　　)が中国を統一した。
- (12) (11)は、(　　)などの法律をつくった。
- (13) 645年に蘇我蝦夷・入鹿親子を倒して改革を行った人物。(2人)
- (14) (13)の改革。
- (15) 土地と人々を国家が直接支配するしきみ。
- (16) 663年、日本と百済が新羅と唐の連合軍に敗れた戦い。
- (17) 中大兄皇子は即位して(　　)天皇となった。
- (18) (17)天皇の没後、あとつきをめぐる争い。
- (19) (18)に勝って即位した人物。
- (20) (19)の没後、その皇后が(　　)天皇として即位した。
- (21) 中国の都にならい、日本ではじめての本格的な都。
- (22) 701年に唐の法律にならった、全国を支配するしきみ。
- (23) 刑罰のきまり。
- (24) 政治を行ううえでのさまざまきまり。
- (25) (23)と(24)にもとづいて政治を行う国家。
- (26) 近畿地方の有力な豪族が中心となって、天皇から高い地位をあたえられ、(　　)になった。
- (27) 710年に唐の都、長安にならって奈良盆地北部に(　　)京がつくられた。
- (28) 奈良に都が置かれてから平安京に都を移すまでの80年余りの時代。
- (29) このころに使われた貨幣の名称。
- (30) 地方は多くの国に区分され、国には都から(　　)が派遣された。
- (31) 地方では地方の豪族が任命された(　　)が指揮をとり、政治を行った。
- (32) 8世紀前半に、戸籍に登録された6歳以上のすべての人々に(　　)があたえられた。
- (33) (32)はその人が死ぬと、国に返す制度。
- (34) 人々は(32)の面積に応じて何を負担したか。
- (35) 一般の男子には布や特産物を都まで運んでおさめる(　　)や(　　)など税もあった。
- (36) 兵役で九州北部の防衛にあたる兵士。
- (37) 743年に(32)が不足したため、新しく開墾を進めた法律。
- (38) 貴族や寺院の私有地。

蘇我氏

推古

摂政

天皇

冠位十二階の制度

十七条の憲法

隋

遣隋使

飛鳥文化

法隆寺

唐

律令

中大兄皇子・中臣鎌足

大化の改新

公地・公民

白村江(はくすきのえ)の戦い

天智

壬申の乱

天武天皇

持統

藤原京

大宝律令

律

令

律令国家

貴族

平城

奈良時代

和同開珎

国司

郡司

口分田

班田収授法

租

調、庸

防人

墾田永年私財法

莊園(しょうえん)